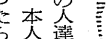




座談会

•

②2人引きロクロ



「じゃあ、お盆はなにで会社の方へ来たのか一つの理由になっている。はたその方は歴史がいろいろなさじが悪かたね。時間論や立場の思を省いたのは、国論的に早く、實際の準備は分程なうまいから、いかに又、生徒等に早く解放しなうべきという気持ちもあったので見学する場所を決めたのだ。司会 東京での外出で少し延長を望む自由時間があった。」

安永 男安同行なので心配が生徒が自覚してルールを守ってくれた。女子の生もなかなかつかって、女子が部屋屋の時に部屋屋の婦人男のなかに行く前通反者は仲間することわたりおいたの、皆うまくてくれた。

政本 交通公社の人は太さな者で、大抵の学校は先ず血まなになつて引張っているに比べ、これ程自治的に旅行にいった者はまたなと。

計12名を充足することになった。委員長談話による斬新な企画と案の協力（投稿者）も大いに賛同を得た。

一年四組 中村恵彦、久下
一年二組 三好敏雄、石井
三組 荒川均
六組 芦田明子、保田
七組 尾形俊子、阿倍
三年五組 正道壽郎、吉岡
七組 岩田恵美子

名簿発行に際しては
従来の名簿は翌年以後、
と同じでクロニズに随
うて、これを破つて新形
に入れて作つて活動し

組) になったとか、新形式で
れた頼りである。

○先生の説教

「IX」 次の見学のうち
かったもの(多分)順

①白根山の野尻湖②書
◎善光寺③一茶の里

「X」東京の自由野外

のように入でひもをひき、一人がけするという簡単な機械である。

材料を求めて山を転々と流れた木小屋はのロクロを肩に背負つて、移動したようである。

明治に至つて、開化と共に足跡式という、一人で作業なので絶対に保障しますと。

伊予 長い間すみませんでした。今年度の修学旅行の成功を祈りながら、この辺で旅行の反省会を

③山形市の小林家にある足踏み

美術工芸展

立天王寺美術館

主催 全大阪高校美術工芸研究会

屋の生活

我國のこの國の機械が乏しく、
たゞ分明であるが、正倉圖に
物中へ、明記した口口口を用
いた、推定であるが、みな
ら、田舎から歸來して、
最初のものは、
たゞ、勿論、明
であるが土用
に作る、
の立口口口鋼板
、材料を台
の下の、
要めなく、



た。

引紐の両端を下に垂して、これに轡木を付けて、服腰につけて、足踏をしながら轡を回転させて、一人で足踏を踏むという方法である。

写真三〇三形市の小川家にある足踏クロコで随分立派なものである。

二人で仕事をした昔に比べて一人で自分の意志で自由に進止できるこの機械は非常に普及を遂げて二十十年の間に全日本の山々に行なわれるようになったといふ。

今日でも東北では老人の中で

參考書・自習書
各種問題集・書籍

書肆 おおさきや

地下鉄昭和町駅前出入口角
田辺街道北東角

ク
ス

この湯溜が杓で汲んで身体に
るためのもので特別に煮えた
ていたものだから「ウアー」

○東京大学構内 ○東京タ
○銀座 ○後楽園
〔XI〕特に感じたこと

[illegible][illegible]

Ⅲ	身体の調子はよかつたか	良 好	79.5	83.9	76.1
		不 良	17.0	13.0	23.0
Ⅳ	フォークダンスは意義があつたか	あ り	65.4	83.3	51.6
		な し	25.8	11.6	36.6
V	規則正しい旅行をしたと思うか	思 う	93.4	92.7	88.3
		思 わない	6.9	5.1	7.9
VI	「旅のしおり」を利用したか	し た	71.4	70.2	72.2
		し な い	28.6	29.8	27.8

○ 旅行客に感ずる
○ 一泊せず貴一階
ほしかつた。
○ 東京をめぐり信託
一度歩き、電車
方面に出かけた。

修学旅行アンケートより 注 数値は%を示す

遊園地
を簡条

最も良	取り入
都内	
はどこ	
